

## 6.12. プログラム設定

プログラム設定では、在庫レポート□ABC分析、物流センター、そして、プロジェクトに関連する多くのオプションを設定できます。プログラム設定を開くには、メニューより**ファイル>設定**を選択します。

### 一般 タブ

一般 タブは、プログラム全体の設定を構成します。



ユーザー名は、ツリービューの予測調整セルやノードに作成されるコメントを追加するときにご利用されるユーザー名を設定します。

更新の自動確認オプションは、アプリケーションを起動したときに□GMDH Streamlineの更新を確認し

ます。

## プロジェクト タブ

プロジェクト タブ には、需要予測処理を管理するオプションとレポートをカスタマイズするオプションがあります。

設定

一般 **プロジェクト** ABC分析 在庫 物流センター ダッシュボード

データ更新

高速更新 (履歴重複なし)

予測

季節性モデル適用条件: 検定値  $\geq$  0.30

在庫計画

内部倉庫最適化の有効化

デフォルト 内部倉庫リードタイム 1 日

オーダー可能の有効化

陳列数量と安全在庫の結合方式

最大値  合計値

在庫維持費用

年間利率 (販売利益を減らす) 0 %

レポート

KPI計算のため入荷数量を手持ち在庫に追加  
(欠品と在庫日数の計算に影響)

在庫期間単位  日  月

予測品質の指標  MAPE  精度 = 100% - MAPE

OK キャンセル

**季節性モデル適用条件: 検定値  $\geq$** は、季節性とトレンドモデルが使われるべきかを決定する閾値を設定します。季節性検定値がこの閾値より大きい場合、季節性とトレンドモデルが適用されます。予測品目について計算された検定値は、**需要予測**の**モデルタブ**に表示されます。

**需要と独立して単価を予測**オプションは、販売予測とは別に、販売価格を予測できます。この場合、‘すべての単価’と名付けられた追加のツリーがツリービューに作成されます。販売価格の予測方法は、**価格予測セクション**で詳しく説明します。

**オーダー可能の有効化**は、購入オーダーを作成できる期間にチェックを入れることで、在庫補充処理に制約を追加できます<sup>1)</sup>。手持ち在庫をインポートしていない場合、このオプションは利用できません。

**最小保存数量と安全在庫の結合方式**は、計算の最後で**安全在庫**の**定義**方法を切り替えることができます。

**販売履歴を表示**オプションは、**レポート**にて期間別の販売履歴を表示するテーブルセクションを追加します。

**年間利率**では、貸付金の年間利率を設定します。これは品目の**粗利益率**を減らします。

**KPI計算のため入荷数量を手持ち在庫に追加**は、次のKPIが計算されるときに、将来の到着を考慮します。  
:

- **在庫日数**
- **在庫金額**
- **予測過剰在庫金額**
- **予測欠品在庫金額**

**在庫期間単位**は、**KPIレポート**と**在庫レポート**にある**在庫日数**と**在庫月数**の列を切り替えます。

**精度指標値**は、**予測精度レポート**の表記を**誤差**と**精度**のモードに切り替えます。

## ABC分析タブ

**ABC分析タブ**では、**ABC分析**オプションを設定できます。



有効化オプションは、ABC分析の利用を設定します。

クラス数オプションにて、分析の分類数を設定します。

下記に説明するクラス数を利用して、各クラスについて年次売上金額パーセントを設定できます。例えばAクラスを70%に設定すると、年次売上金額の多い品目から並べられAクラスには累積売上金額が70%までの品目が含まれます。最終クラスのパーセンテージは、他クラスからの残りのため、自動で計算されます。

## 在庫 タブ

在庫 タブは、[在庫計画タブ](#)にあるレポートをカスタマイズするオプションが多数あります。

**デフォルト リードタイムオプション**は、計画品目すべてに適用されるリードタイムを日数単位で設定します。

**デフォルト オーダーサイクルオプション**は、デフォルト オーダーサイクルを設定します。オーダーサイクルは、月/週(販売履歴の集計期間に依存しどちらか)、日、またはリードタイムで設定できます。

**デフォルト 保存期限超過**は、**保存期限** 制約のために、廃棄する必要の可能性がある補充数量のデフォルトパーセントを設定します。

すべてのデフォルトは、すべての計画品目に一括で適用されます。

**安全在庫セクション**は、**安全在庫**の計算方法を設定します。次のようになります。:

- 設定された**サービス率**パーセントをもとに、次の数式を利用して計算します。:

$$\text{安全在庫} = \alpha * \delta * \sqrt{t},$$

ここで:

- $\alpha$  は、与えられたサービス率から決定されます。
- $\delta$  は、**モデル誤差**の標準偏差です。
- $t$  は、**定期方式**が利用された場合**オーダーサイクル** 値です。または、**ミニマックス方法**が利用された場合**リードタイム**値です。**オーダーサイクル**と**リードタイム**は、計算前にデータ集計期間で変換されています。
- $n$  が与えられたとき、**リードタイム**と**オーダーサイクル**の合計から算出される期間で集計された $n$  期間の需要です。
- 上記2つから最大値を取得します。

**表示列**セクションは、**在庫レポートテーブル**の特定の列またはセクションの表示と非表示を切り替えます。

**材料消費を含める**オプションが選択されていない場合、在庫レポートの **需要予測セクション**は、品目の販売データに基づいた最終需要予測のみを表示します。**材料消費を含める**オプションが選択された場合、このセクションは、製造のための材料消費と品目の販売データを含めた、合計の需要を表示します。

GMDH Streamlineは、**定期**または**ミニマックス補充方式**を利用し、補充処理を進めます。

**定期方式**は、月1回など定期的に購入オーダーを発行するときに選択します。この場合、何を、いつ、何個、注文すべきかが分かるジャストインタイムの発注計画を提供します。この情報は、**在庫計画** タブの**今回のオーダーセクション**にて説明されています。

**すべてのオーダー計画を表示**オプションは、予測期間内のすべてのオーダー計画を表示します。

**ミニマックス方式**は、在庫水準が特定の補充の閾値(**発注点**)近くなった時に購入オーダーを作成し、最大水準まで在庫を戻すときに選択します。この場合[GMDH Streamlineは、**在庫計画**経由で、**発注点**と**最大在庫**情報を提供します。この情報は、購入計画を立案するときに利用できます。

## 物流センター タブ

**物流センター**タブでは、物流センターの設定ができます。

設定

一般 プロジェクト ABC分析 在庫 **物流センター** ダッシュボード

有効化  
地点

経由地点 (在庫を保管しない)  
デフォルトリードタイム(L)  日  
デフォルト オーダーサイクル(O)  月

デフォルト 平均保存期限 超過  %

安全在庫  
次の最大値…  
 サービス率(S)  %  
 将来の需要(D)  月

表示列  
 材料消費を "需要予測" に追加  
[列の表示 / 非表示](#)

補充方式  
 定期(E)  
 ミニマックス(M)

OK キャンセル

**有効化**オプションは、物流センター〔DC〕の利用を切り替えます。

**地点**コントロールは、どのようにDCを扱うかを定義します。' (その他 地点)' が設定された場合〔DC〕を  
購入先と地点の間の中継倉庫とみなし〔DC〕は購入先から唯一受け取ることができ、必要数量を各地点に  
補充します。**地点**ドロップダウンリストの他のオプションでは、選択地点がDCとなり、中継倉庫の機能  
に加えて、顧客に品目を販売できるDCとなります。

**デフォルト リードタイム**オプションは、購入先からDCへ送付する、デフォルト リードタイムを日数単  
位で設定します。

**デフォルト オーダーサイクル**オプションは、DCから購入先に作成される2つの連続する補充オーダーの  
時間間隔を設定します。月/週(販売履歴の集計期間に依存しどちらか)、日、またはリードタイムで設  
定できます。

**デフォルト 平均保存期限 超過**は、購入数量の中で、処分セールや、購入先に返品などをしなければなら  
ないかもしれない、デフォルトパーセントを設定します。

すべてのデフォルトは、すべての計画品目に一括で適用されます。

**安全在庫セクション**は、**DC 安全在庫**の計算方法を定義します。:

- 次の数式を用いて、設定された**DC サービス率**パーセントを基礎に計算:

$$DC\_safety\_stock = \sqrt{(SS^2_1(\alpha, t) + SS^2_2(\alpha, t) + \dots + SS^2_m(\alpha, t))},$$

$$SS_i(\alpha, t) = \alpha * \delta_i * \sqrt{t}, \quad i = 1, \dots, m,$$

ここで:

- $SS_i$  は、 $i$ 番目の地点の安全在庫です。 $m$ は、地点数です。
- $\delta_i$  は、 $i$ 番目の地点のモデルの標準偏差です。
- $\alpha$  は、与えられた**サービス率**から決定されます。
- $t$  は、**定期方式**が利用された場合**オーダーサイクル** 値です。または、**ミニマックス方法**が利用された場合**リードタイム**値です。**オーダーサイクル**と**リードタイム**は、計算前にデータ集計期間で変換されています。
- $n$  が与えられたとき、**リードタイム**と**オーダーサイクル**の合計から算出される期間で集計された**n** 期間の需要です。
- 上記2つから最大値を取得です。

**表示列セクション**は、**物流センタータブ**の**テーブル**の特定の列またはセクションの表示と非表示を切り替えます。

GMDH Streamlineは、**定期**または**ミニマックス**の**補充方式**を利用し、補充処理を進めます。これらオプションは、DCの補充方式を設定します。

**すべてのオーダー計画を表示**オプションは、予測期間内のすべてのオーダー計画を表示します。

---

次へ: [コマンドライン](#)

[PDFダウンロード](#)

1)

翻訳者注釈: オーダーサイクルが2か月のとき、ある購入先では奇数月、別の購入先では偶数月にオーダー可能の場合に、この機能を利用してオーダーできる月を設定できます。

From:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/> - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:program-settings>

Last update: **2020/09/28 13:06**

